

## <令和2年 調査のポイント>

### 1 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、可能な限りの調査を実施。

宿泊客数、修学旅行生数については、本市宿泊税データ、観光庁から提供される宿泊客数データ及び市内宿泊施設へのアンケートの活用により推計。

また、面接聴取を伴う調査については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施が困難であったため、令和2年の観光客数、観光消費額等の推計はない。

なお、観光消費額・観光客満足度・実態調査については、感染者数が一定低く推移していた令和2年秋期(11月)に、感染症拡大防止対策を講じながら日本人を対象とした調査のみ実施。

#### 【推計可能な主な調査項目】

宿泊客数、外国人宿泊客数、修学旅行生数、令和2年11月の日本人観光客の観光消費額、満足度・実態 等

#### 【推計できなかった主な調査項目※】

観光客数、観光消費額、経済波及効果、外国人観光客の観光消費額、満足度・実態 等

### 2 宿泊客数（実人数）は前年比59.7%減の531万人

感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言下の5月には前年同月比93.2%減となるなど大幅に減少。

感染症予防・拡大防止対策を徹底した安心して楽しめる「新しい観光スタイル」を推進する中、国のGoToトラベル事業の後押しもあり、11月には前年同月比37.2%減まで回復するが依然として厳しい状況。

### 3 外国人宿泊客数（実人数）は前年比88.2%減の45万人

感染症の拡大により、2月以降順次水際対策が強化されたことに伴い減少し、4月以降はほぼゼロの状態。

### 4 修学旅行生数（実人数）は前年比77.6%減の16万人

6月に修学旅行の安心安全対策に係る方針を全国に先駆けて策定し、適切な相談・医療体制など安心して学べる受入環境を整えた結果、前年比77.6%減となるものの16万人にお越しいただいた。

### 5 (参考)令和2年秋期（11月）の日本人観光客の満足度が95%超。

出発地は関東が37.4%と最も多く、次いで近畿が32.2% 等

## 1 宿泊客数調査

### (1) 総宿泊客数 実人数 531万人，延べ人数 773万人 (P.7)

	令和2年	令和元年	増減
実人数	5,310千人	13,166千人	▲59.7%
延べ人数	7,732千人	21,253千人	▲63.6%

▶ 平均宿泊日数は減少 H30:1.61泊 → R1:1.61泊 → R2:1.46泊 (P.7)

※日本人と比較し宿泊日数が長い外国人宿泊客が大きく減少したことにより、全体の平均宿泊日数も減少

### (2) 外国人宿泊客数 実人数 45万人，延べ人数 98万人 (P.9)

	令和2年	令和元年	増減
実人数	449千人	3,799千人	▲88.2%
延べ人数	979千人	8,294千人	▲88.2%

▶ 訪日外客数 (R2:412万人) に占める割合は10.9% ※JNTO「訪日外客数」

▶ 平均宿泊日数は増加傾向 H30:2.14泊 → R1:2.18泊 → R2:2.18泊 (P.9)

### (3) 修学旅行生数調査 実人数 15万7千人，延べ人数 23万2千人 (P.15)

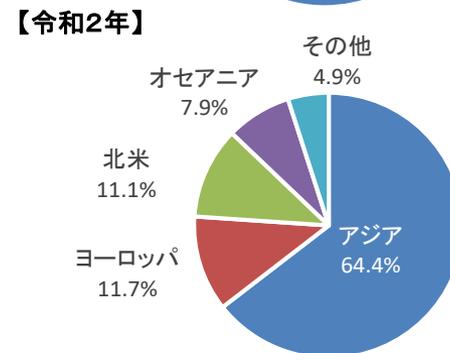
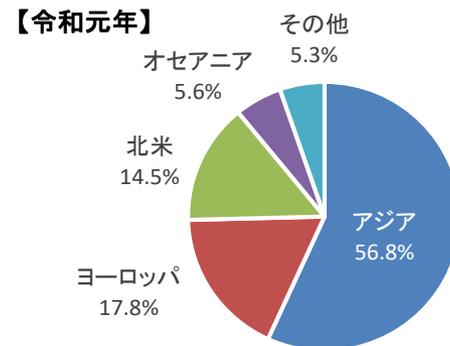
	令和2年	令和元年	増減
実人数	157千人	704千人	▲77.6%
延べ人数	232千人	1,214千人	▲80.9%

▶ 平均宿泊日数 H30:1.88泊 → R1:1.73泊 → R2:1.47泊 (P.16)

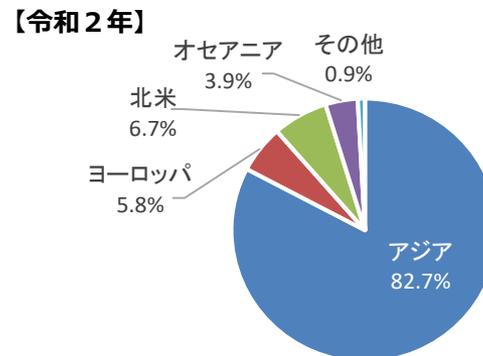
(参考) 小・中・高校の割合 (実人数)

	小学校	中学校	高校
令和2年	33.2%	54.1%	12.7%
令和元年	14.6%	67.9%	17.5%

図表1 京都市外国人宿泊割合 (実人数)

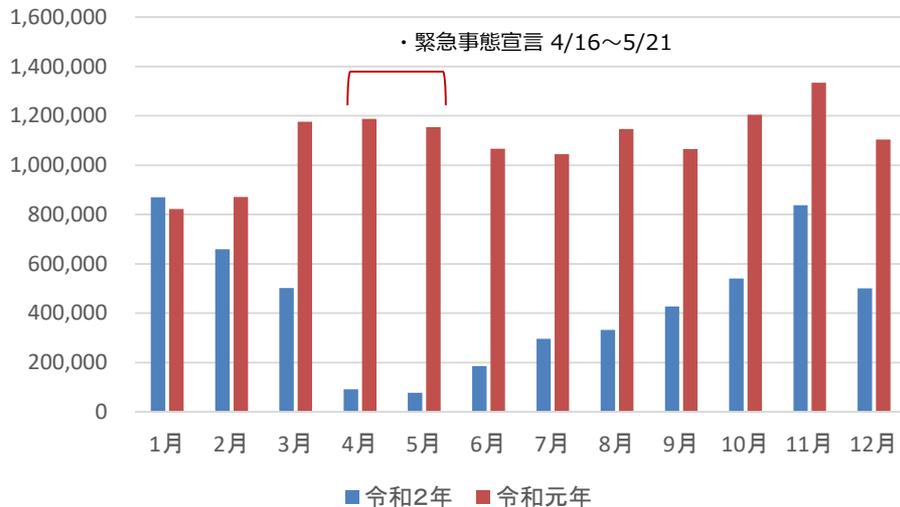


図表2 訪日外国人客数割合

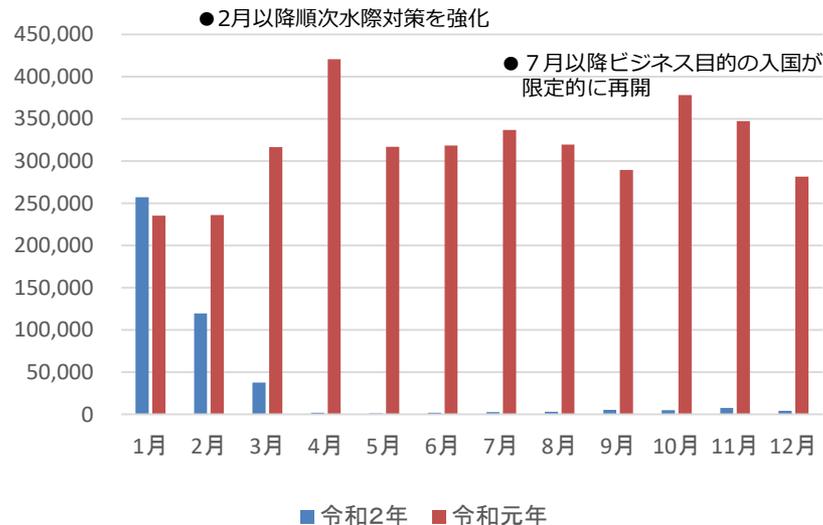


出典：JNTO発表統計より作成

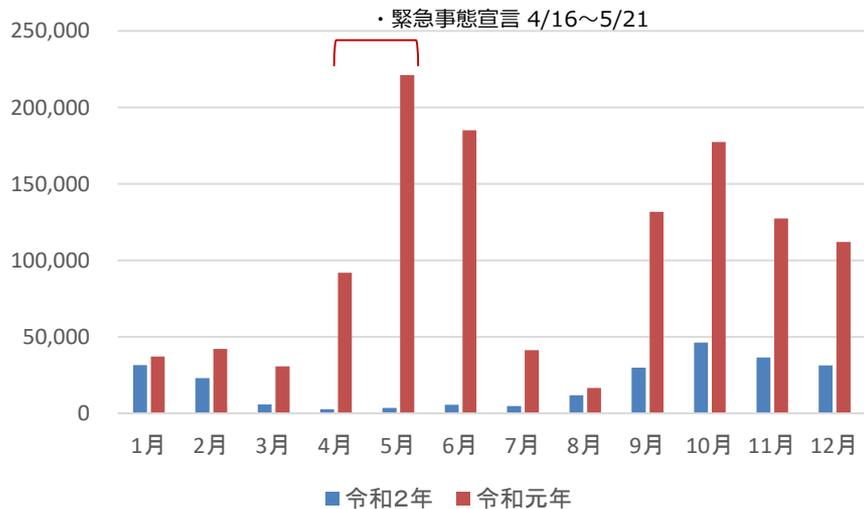
図表3 月別 総宿泊客数（実人数）



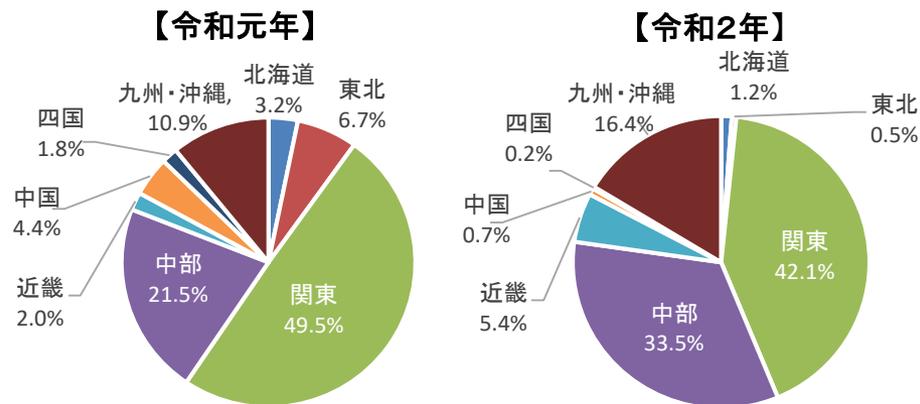
図表4 月別 外国人宿泊客数（実人数）



図表5 月別 修学旅行生数（延べ人数）



図表6 出発地別修学旅行生割合



## 1 令和2年秋期（11月）の日本人観光客の動向

※本調査の結果（秋期数値）は、令和元年までの調査結果（通年数値）と単純比較ができないため、参考値として記載。

### （1）日本人観光消費額単価 (P.19)

観光消費額単価（宿泊客）：56,598円 （日帰り客）：10,214円

### （2）日本人観光客の満足度等 (P.21,22)

ア 京都観光の満足度（大変満足～やや満足）は95%超

イ 「残念なことがあったか」とお聞きしたところ、「残念なことがあった」との回答 42.3%

### （3）入洛利用交通機関 (P.27)

鉄道：78.5% バス：8.4% 車（マイカー）：13.1%

### （4）訪問回数 (P.28)

初めて～9回目：53.0%，10回以上：47.0%

### （5）出発地 (P.30)

関東地方：37.4% 近畿地方：32.2%

### （6）宿泊日数 (P.30)

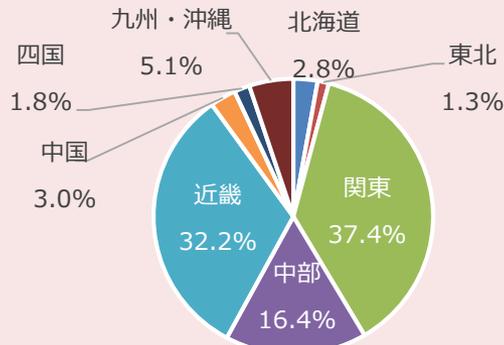
1泊：45.6%，2泊：34.7%，3泊：14.2%

### （7）入洛目的 (P.33)

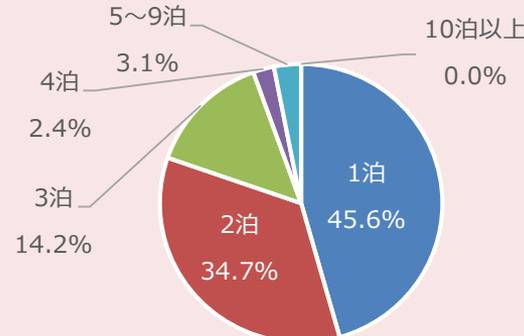
観光：85.9%，展示会・見本市：1.8%，ビジネス（商談等）：0.3%

日本人観光消費額単価 (円)		
区分	宿泊	日帰り
市内交通費	4,637	1,315
宿泊代	23,122	—
買物代	10,998	4,718
飲食費	13,167	3,005
入場料・拝観料	3,961	1,028
その他 (体験費用等)	713	148
合計	56,598	10,214

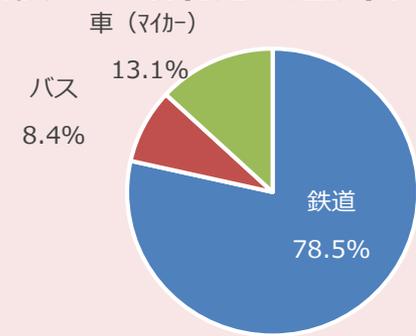
図表7 出発地



図表8 宿泊日数



図表9 入洛利用交通機関別数



## 【参考】調査方法の概要

- ・京都市では、観光客数や観光客の動向等を把握し、今後の観光政策に活かしていくため、観光調査を、昭和33年から、60年以上の長きにわたり、内容を充実させながら実施している。
- ・これにより、観光客の皆様の不満等を把握するとともにその解消に繋げ、京都観光に満足、感動いただけるよう、京都の強みをさらに伸ばしていけるよう、取組を進めている。

### 観光客の定義

観光客とは、観光目的だけでなく、ビジネス、買物、イベント、観劇、スポーツ、友人・知人訪問等の目的で入洛した人を指し、市外在住で通勤、通学以外の目的で入洛した人全てを含む。

### 観光客数調査

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

観光客数については、「観光入込客統計に関する共通基準（平成21年12月観光庁策定）※」に基づく手法により調査し、各月及び総数を推計。

※京都市の都市特性を反映させながら全国共通基準にも合致する統計手法で実施。

共通基準	観光地点を訪れた観光入込客数から推計。
本市の手法	京都市域全体を一つの観光地点と見立てて交通手段別（鉄道、バス、車）の入込客数と各交通手段の利用者への聞き取り調査を基に、観光客数を推計。

### 宿泊客数、修学旅行生数調査

宿泊客数、修学旅行生については、本市宿泊税データを基に、観光庁から提供される宿泊客数データや京都市内の宿泊施設へ依頼する宿泊客に関するアンケートを活用しながら、数値を推計。

### 観光消費額・観光客満足度・実態調査（日本人・外国人）

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日本人観光客を対象とした秋期（11月）調査のみ実施

調査時期（年4回）、曜日、時間を概ね合わせたうえで無作為に調査対象者を抽出し、郵送回答や面接聴取の方法により調査を実施。

	例年の調査	R2秋調査（参考値）
調査時期	冬期（2月）、春期（5月）、夏期（8月）、秋期（11月）	秋期（11月）
調査場所	【日本人】京都市内の主要な鉄道駅、観光駐車場等、全13箇所 【外国人】京都市内の主な観光施設等、全6箇所	【日本人】左記13箇所
調査項目	居住地、利用交通機関、目的、日数、性別、年齢、動機、市内訪問地、観光消費額、感想、満足度 など	同左
サンプル数	【日本人】4,400      【外国人】1,732	【日本人】1,100